

報道関係者 各位

令和元年 12 月 4 日

【照会先】足利労働基準監督署

監督課長 長田 淳一

安全衛生課長 増淵 孝志

電話 0284-41-1188

管内で初めての「転倒災害防止実践講習」を開催します

～転倒災害予防の座学と体力測定体験・転倒予防運動

を交えた実践講習を実施します～

足利労働基準監督署(署長 手塚 稔)は、「転倒」による労働災害が管内で発生する労働災害の約3割を占め、この「転倒」による労働災害の被災者の多くが50歳代から60歳代であることから、足利地区 THP 推進協議会(会長 富田 隆)との共催により、下記の日程及び内容の「転倒災害防止実践講習」を開催します。

今回の講習では、「高齢化に伴う様々な健康問題と仕事」と題する転倒災害の予防のための座学と「転倒等リスク評価のための体力測定体験」、「転倒災害予防の運動」の実践を併せた講習を実施します。

健康づくり実践教室 ～転倒災害防止実践講習～

- 開催日時 令和元年 12 月 10 日(火) 午前 9 時 30 分～正午(予定)
- 開催場所 公益財団法人 栃木県南地域地場産業振興センター 小ホール
足利市田中町 32 番地 11 TEL0284-71-1141
- 内 容 (1)座学
演題「高齢化に伴う様々な健康問題と仕事」
～からだど心の健康確保で転倒を予防しよう～
講師 栃木産業保健総合支援センター 産業保健専門職
高橋 由紀子 氏
(2)実践
①「体力測定体験(転倒等リスク評価)」
②「転倒災害予防の運動」
講師 一般財団法人 日本健康財団 健康運動指導士

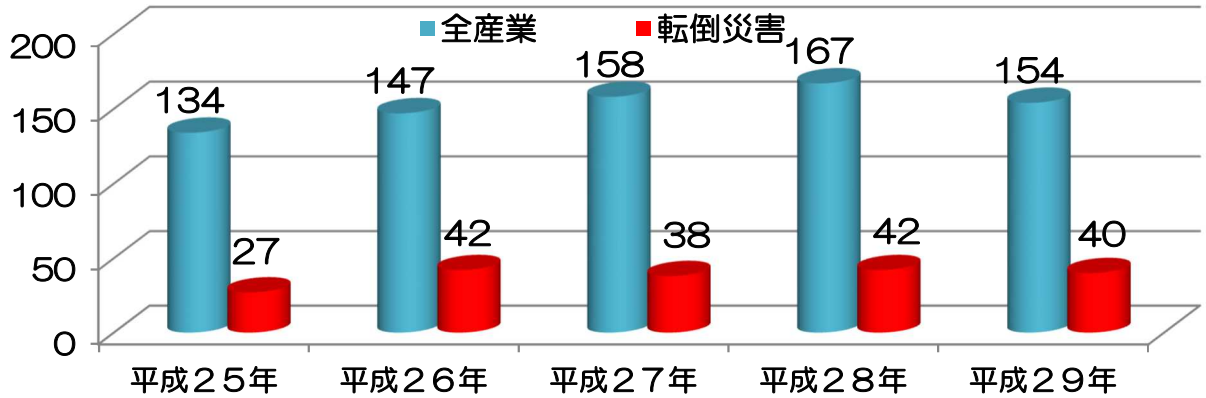
【取材対応】

- ・講習は公開で行いますので、撮影可です。
- ・講習終了後に当署職員が個別に取材に対応します。

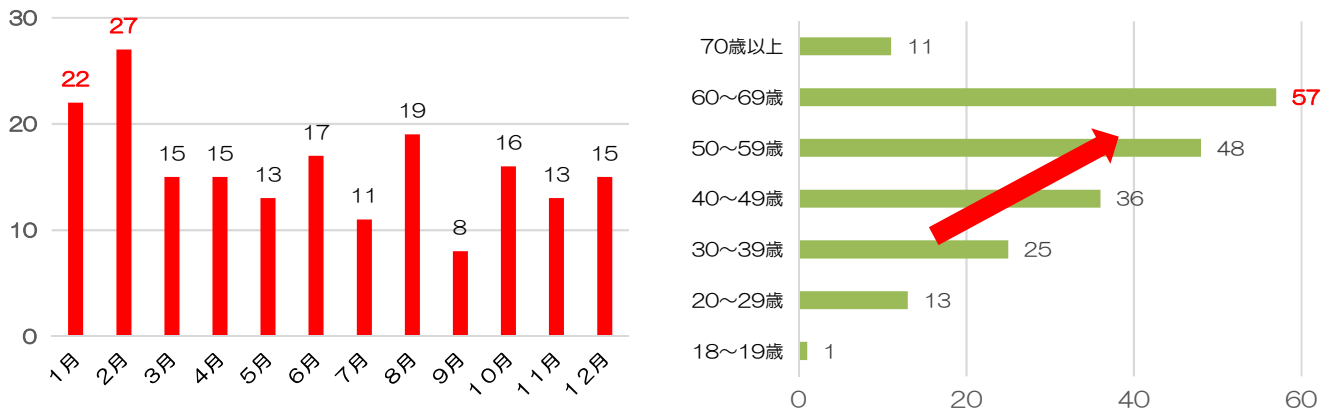
【参考資料】

足利労働基準監督署管内の第12次労働災害防止計画(以下「第12次防」という)期間中における災害は、平成28年以降、減少推移にあります。一方で「転倒」による労働災害は高水準の傾向にあり、平成29年には全業種の3割弱を占めている状況です。なお、第12次防期間中の傾向は以下のとおりです。

① 第12次防期間中(平成25年から平成29年)の推移状況

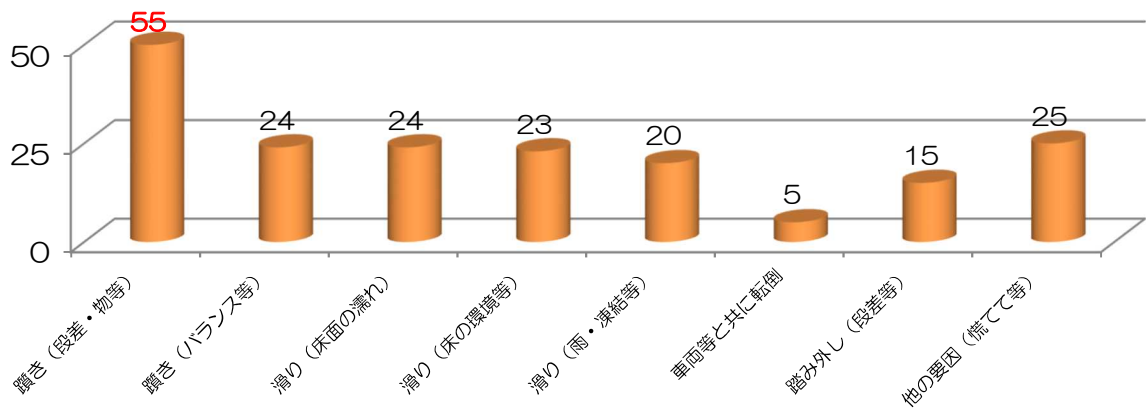


② 発生月別発生状況・年齢別発生状況(第12次防期間中)



月別で見ると、1月～2月の冬季に多発している傾向があります。また、年齢別では年齢構成が上がるほど発生しており、特に60歳以上の労働者において多発傾向にあります。

③ 行動要因別発生状況(第12次防期間中)



要因別では、床面の段差、物等による「踏き」が最も多くを占めています。その他、床面の環境(濡れ等)などによる滑りも多く認められ、また、行動要因として作業中に「走る」、「あわてて」などの労働者の心理的な要因も多発している状況です。

さらに、冬季における降雪、凍結等による転倒災害も一定数認められる状況です。

平成30年 事故の型別起因物別労働災害発生状況『全産業』

【 確 定 値 】

足利労働基準監督署

起因物 事故型	原 動 機	動 力 伝 導 機 構	木 材 加 工 用 機 械	建 設 用 機 械	金 属 加 工 用 機 械	一 般 動 力 機 械	動 力 ク レ ー ン 等	動 力 運 搬 機	乗 物	圧 力 容 器	化 学 設 備	溶 接 装 置	炉 ・ 窯 等	電 気 設 備	人 力 機 械 工 具 等	用 具	そ の 他 の 装 置 ・ 設 備	仮 設 物 ・ 構 築 物 ・ 建 築 物 等	危 険 物 ・ 有 害 物 等	材 荷 料	環 境 等	そ の 他 の 起 因 物	起 因 物 な し	分 類 不 能	計	構 成 比	前 年 同 期	
墜落・転落								3							1	7	6 (1)				1					18 (1)	12.1%	16
転倒				1				1	1						3	3	30				3				42	28.2%	40	
激突								1	1						1										3	2.0%	9	
飛来・落下						1	2	1							1	4					3	1			13	8.7%	14	
崩壊・倒壊															1	1					1				3	2.0%	6	
激突され							1								3	1					1	2			8	5.4%	11	
はさまれ、巻き込まれ					5	8	1	3				1			2					1	2				23	15.4%	24	
切れ・こすれ		1			1	5									1	1					2				11	7.4%	4	
踏み抜き																												
おぼれ																												
高温・低温の物との接触													1								1	3			5	3.4%	1	
有害物等との接触																					3				3	2.0%	1	
感電																												
爆発																												
破裂																												
火災																												
交通事故(道路)									6													2			8	5.4%	8	
交通事故(その他)																											1	
動作の反動・無理な動作																	3				1	4	4		12	8.1%	17	
その他																											1	
分類不能																												
計			1	1	6	14	4	9	8			1	1		12	18	39 (1)	5	10		16		4		149 (1)	100.0%	154	
構 成 比			0.7%	0.7%	4.0%	9.4%	2.7%	6.0%	5.4%			0.7%	0.7%		8.1%	12.1%	26.2%	3.4%	6.7%		10.7%		2.7%		100.0%			
前 年 同 期				1	8	17	3	11	7						16	18	3	41	1	13	9	4	2		154			

() 内は死亡者数の内数です。